

公 表 日

令和 3年 5月 27日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	番匠川流域水害リスクラインシステム改良業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所長 石橋 賢一 大分県佐伯市長島町4-14-14
契約年月日	令和 3年 5月 27日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	10,890,000円(税込み)
予定価格	10,890,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	番匠川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3年 5月 28日
履行期間(至)	令和 3年 12月 20日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 番匠川流域水害リスクラインシステム改良業務
2. 履行場所 番匠川水系
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、水害リスクラインの予測精度向上のため長時間予測、パラメータ調整等により予測精度向上を目的としたシステムの改良を行う業務である。

2) 業務の内容

本業務は、以下のとおり行うものである。

- ・河川水位予測システムの改良 1式
- ・番匠川流域水害リスクラインシステムの予測精度向上の検討 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」について「業務理解度」では目的、条件、内容が簡潔に記載され内容の目標設定が適切に記載されていること、「実施手順」では業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高く、工夫が図られていて、業務量を適正に反映した工程であり優れていること、「その他」では有益な代替案、重要事項の指摘があり優れていることが評価された。また「評価テーマ」の「番匠川水系の流域特性を踏まえた洪水予測精度向上の留意点」に対する技術提案について、「的確性」では地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高く、必要な内容が適切に整理され優れていること、「実現性」では提案内容に説得力があり、さらに提案内容を裏付ける実績業務が明示され優れていることから、本業務を遂行するにあたっての有効性について優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

佐伯河川国道事務所 調査課長